



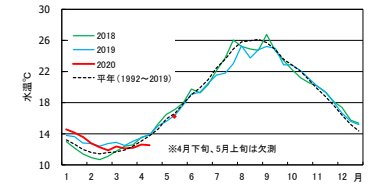
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

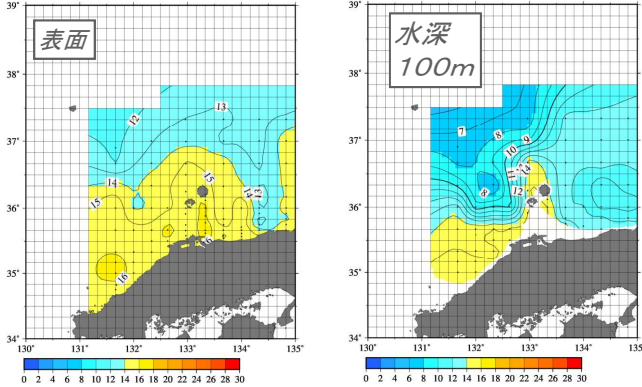
(電話:0858-34-3321)

5月中旬 16.2℃

平年より約 0.4℃低め

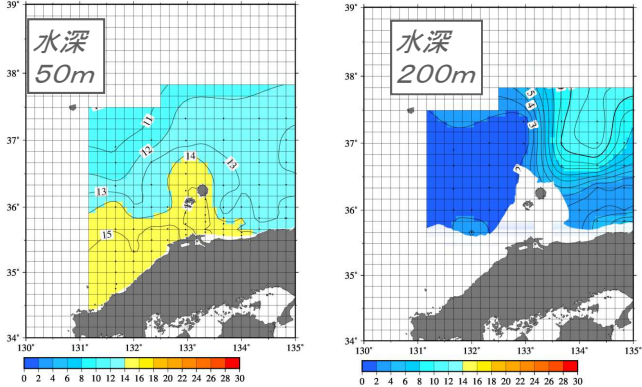


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)
試験船による海洋観測結果 (5月上旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は13～16℃で、平年(直近20年)より0.8℃低い値を示しています。

水温は13～14℃を示し、平年(直近20年)並みの値となっています。



水温は13～15℃を示し、平年(直近20年)並みの値を示しています。

隠岐諸島北東北緯36°40'以北に暖水域(8～11℃)があります。

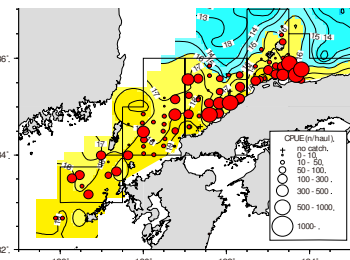
水産試験場

今年度もマアジの加入量調査を行います

水産試験場では2003年から毎年5～6月にかけて「マアジ新規加入量調査」を行っています。この調査は、その年生まれのマアジの分布量がどれくらいか調べるために山口県・鳥根県および(国研)水産研究・教育機構と連携して行っているものです。

マアジ(対馬暖流系群)は春～初夏にかけて東シナ海～日本海で産卵するとされており、発生したマアジは対馬暖流に乗って北上しながら成長します。五島列島周辺～隠岐海峡にかけて設定された各調査点でトロール網を投入し、マアジの幼魚を採捕してその尾数や操業情報、水温などのデータを使って「加入量指標値(2003年を1としたマアジの分布量の指標値)」を算出します。

今年度の調査結果は7月頃に「マアジ・クロマグロ報告会」でお知らせする予定です。(※新型コロナウイルスの状況によっては開催中止の可能性あり)



2019年度の調査でのマアジ採捕量を示した図 (円の大きさがマアジ採捕量を示す)



加入量指標値と6-12月まき網当歳魚漁獲尾数

令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

5月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水	鳥根県東部沖 北緯36°以北 (10℃以下)に認められます。
山陰・若狭沖冷水	鳥取県沖～兵庫県沖では10℃以下の冷水域は北緯36°以北まで離岸していると考えられます。
その他の水塊	鳥取県沖 北緯35°50'～北緯36°40'に11～12℃の冷水塊が形成しています。
対馬暖流主流の流路	朝鮮半島東岸に沿って北上し、一部が鳥根沖冷水に沿って東方に向かい、隠岐諸島北方へ流れると考えられます。その後、12℃の等温線に沿って、鳥取県沖合北緯37°以北を流れると考えられます。また、鳥取県沖の冷水塊(11～12℃)周辺に反時計回りの流れが生じていると考えられます。

※県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載していますが、是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

大型魚類(サメなど)の活用を検討し、漁具破損の抑制を目指します!

近年、水産資源としてほとんど利用されていない大型魚類により、刺し網やイカ釣り仕掛けが破損させられる被害が増加しています。現状では被害を与える魚類に値段がつかないため水揚げが少ないですが、これらも安定的に一定量の水揚げがあれば水産資源として活用できる可能性があります。

そこで①各漁協が大型魚類の単価を最低200円/kgとして担保し、水揚げを促します。②各漁協が水揚げされた大型魚類の利活用方法を検討し、今後も安定的な水揚げが続くように促します。鳥取県はこの活動をサポートします。

漁協と鳥取県はこの活動により漁具破損の被害を減少させることを目指します。

漁業者

→

漁業協同組合

→

利活用の検討

大型魚類を水揚げする → 卸値を担保する ※鳥取県が一部補助

新たな水産資源! 漁具被害も減少!!

事業名 : 漁具破損被害抑制事業【事業費(限度額) : 500千円】
補助対象 : 漁業協同組合
補助率 : 1/2以下(鳥取県: 1/2以下)
補助要件 : 漁業協同組合による買上げ額 : 1kg当たり200円

栽培漁業センター

バイの産卵器設置のお願い

鳥取県のバイ(黒バイ、きんこばい)の漁獲量は近年70ト前後と好調な漁獲で推移していましたが、美保湾でのヒトデ類の大量発生により2018年は40トまで減少しました。ただ、このヒトデ禍による影響は1年だけで終わり、2019年には早速75トまで復活しています。また、2020年の漁獲も順調で、市場調査では親となるサイズのバイが多く確認されています。

ぜひ、好調な資源を維持するためにも、産卵器の設置に取り組んでいただきますようお願いいたします。今年もヒトデ類は少なく、資源量を増加させるため、絶好な年です。なお、バイが産卵するタイミングは、海水温が20℃以上となる大潮であり、美保湾では6月4日、美保湾以外では6月19日までの産卵器の設置が効果的です。

漬けるだけで 300万個の産卵促進

R2年6月

日	月	火	水	木	金	土
5/31	1	2	3	4	5	6
					大潮	大潮
7	8	9	10	11	12	13
大潮	大潮					
14	15	16	17	18	19	20
					大潮	
21	22	23	24	25	26	27
大潮	大潮					
28	29	30	7/1	7/2	7/3	7/4
					大潮	